

(様式4)

令和5年度 東小学校英語科特例校の実施状況について

大泉町立東小学校

1 英語科特例校の内容

小学校1・2年生において、「外国語活動」を実施する。

近年、国際化・グローバル化が進んでおり、今後その流れはますます大きくなることが予想される。令和2年度からの新学習指導要領では、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語科」が新設され、外国語教育の一層の充実を図ることとなっている。そこで、大泉町内の全ての小学校において、特別の教育課程を実施し、早期から英語の学習を始めて英語教育の充実を目指していく。

2 児童アンケートの結果

<質問項目>

①「外国語活動」の時間は、楽しいですか？	89.9 %
②「外国語活動」の時間は、先生や友達とすすんで英語で話していますか？	97.1 %
③英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	92.8 %

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・ゲームや劇、カード集め、学校探検やJTEが製作して右左折の指示で動くロボットなど、工夫された教材で、児童は楽しく活動できた。
- ・歌や読み聞かせのアクティビティが楽しい。
- ・全部楽しい、またやりたい。
- ・英語を話せるようになってうれしい。
- ・英語の歌を、はじめは難しかったが、わかってきた。
- ・友だちとの交流の中で、「上手にできた」と友だちが誉めてくれてうれしかった。
- ・いつも先生方がやさしく誉めてくれて、やる気がでる。
- ・よく聞き取れなくて、つまらない。
- ・もっと自分を指名してほしい。

3 保護者アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	100.0 %
②お子さんは、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	95.2 %
③お子さんは、英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	83.0 %

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・英語の授業をとっても楽しみにしている。
- ・今後も英語教育を推進していただきたいと思います。
- ・週に2～3回英語の授業があれば、児童は多くのことを学び、英語をより効果的に活用することができると思います。
- ・授業参観で拝見させていただきましたが、日本人の先生が主導でALTの先生とティームティーチングがしっかりしていてわかりやすく、子供たちは楽しそうにしていました。
- ・中学校入学前に、「英会話に親しむ」、「異国文化に親しむ」ということではよいと思いました。
- ・中学校に行っても困らないように、たくさん学校でも学んでほしい。発音が良くなるよう

- 外国人講師の授業を増やしてほしい。
- 外出の際、子供が他市の外国人教員の方に声をかけて頂いた時があり、恥ずかしそうに答えて成長を感じられたし、その方に褒められて喜んでいました。
- 今でも1番楽しみにしている授業だそうです！苦手意識ではなく楽しいと感じさせて頂けてすごく有り難く、助かっております。
- 機会がありましたら授業の様子を参観してみたいです。

4 教職員アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	94.5 %
②児童は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	100.0 %
③児童は、英語であいさつをしたり、英語で簡単な質問に答えたりすることができますか？	88.9 %

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- 当たり前前に外国語がある児童達なので、英語以外の言語に興味をもっている子が多いと思います。ぜひ、英語以外の外国語活動もしてほしいと思います。
- 英語専科の教員、JTE、ALTが綿密に打ち合わせをしながら授業を行ってたいへん助かっています。楽しみながら中身の濃い活動ができていると思うので、来年度以降も続けてほしいです。
- 文字を書くことができなくても、耳から英語を入れることは大事だと思います。
- ゲームを取り入れながら授業を展開して下さっているので、低学年は楽しみながら英語を学習することができています。今後も現在のような体制を続けて頂けると、児童の英語力向上につながると思いますので、よろしく願いいたします。
- 多言語を学ぶという性質上、担任だけでは難しいです。
- HRTの立場で、専科として英語の指導に当たっていますが、JTE、ALTを配置して頂いているので、指導に際して専門的な立場からの助言がもらえてありがたいです。
- 特例の教育課程を組む際に、各教科からの時数を割いてやらなくても、余剰で外国語活動をやるのもいいのではと常々思っています。先生達が自分達でがんばって授業を組み立てて、実践することも児童へのよい影響を与えられると考えています。他市町村と比べて、どの程度成果が出ているかを知ること必要かなと。(知りたいです)

5 成果と課題

<成果>

- JTEによる専門的な立場からの学習活動の展開は、英語活動に欠かせない。経験豊かなJTEを中心としたALT、専科の協働による指導により、充実した学習活動が展開されていた。
- 児童は楽しく英語活動に親しむことができ、成就感や自分の成長を感じることができた児童もいる。
- 聞くことや話すことを主体としたアクティビティが展開されており、児童が英語の発音やアクセントなどに早めに慣れることができ、中学年の学習への基礎となっている。

<課題>

- 担当時数等の関係もあり、今年度はHRTの立場には専科教員が配当されていた。個々の教員の指導力の向上という視点で考えると、HRTとして担任が指導に参加することもよいと考える。
- 現状JTEによる専門的な指導・協働態勢に頼る現状であり、JTEなしでの指導は困難である。

6 学校関係者（学校評議員）の評価結果

- 楽しくのびのびと学習に取り組んでいた。苦手意識をもたせないためには有効である。
- 低学年のうちから英語に親しむことは、言語を聞き分ける力を高めることにつながっている。
- ALTの発音がよい。マスクを着用することが少なくなったため、ALTの口を見て発音ができるようになってきていることがよい。